

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和 8年 3月 12日

コミュニティ名	人権教育研究サークル
代表者所属名	木津川市立加茂小学校
代表者職・氏名	教諭 植田 萌子

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

人権教育研究サークル

2 研究テーマ

学級における繋がりを意識した人権教育～同和問題の成果と手法に学ぶ～

3 研究の目的

このコミュニティは単に人権について学ぶだけでなく、同和問題の成果と手法を生かした実践例から学ぶことを大切にしたい。知識だけでなく、教員の児童・生徒との繋がりについて今一度深く考え、「実践してみたい」と思える教員の育成を目的とする。

4 研究の成果と課題

子どもたちの繋がりを大切にされてきた先生に学べる研修を多く実施することができた。参加されたサークルメンバーの感想からは、自身の学級経営や実践について振り返る発言や感想があり、こちらの設定した目的が一部達成できた。また、サークルメンバーから他校の研修に講師として依頼を受けるなど、波及活動にも成果が見られた。

しかし、振り返ったあとの教師や子どもたちの変容について十分交流する場が設けられなかったため、今後は継続的な実践交流ができるようにしていきたい。

5 研究成果の波及方法

サークル参加者及び、児童支援加配、生徒支援加配教員が各校の人権教育推進の中心となる。校内研修の講師や他校の人権教育のアドバイザーとして関わる。

6 研究（活動）実績*

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
R7 6月21日	京都「じんけん」楽習塾 実践報告：「みんなと同じように、させたいんやろ」～Aさんの存在から、自分を問い直す～ 講師：滋賀県人教 彦根市立佐和山小学校 佐久間 楓 先生	キャンパスプラザ京都
R7 6月30日	校内研修 講演：「出会い、かかわり、そして繋ぐ」 講師：（公社）全国人権教育研究協議会 西野千代 様	木津川市立加茂小学校
R7 7月22日	出張研修 講演：「だれもが自分らしく過ごせるために」 講師：木津川市立加茂小学校 児童支援加配 中村雅文	木津川市立梅美台小学校
R7 7月22日	出張研修 講演：「なぜ今、同和問題？人権と学級経営」 講師：木津川市立加茂小学校 児童支援加配 中村雅文	京田辺市立薪小学校
R7 7月29日	木津川市人権指導者連絡会 演題：「うち、これ、絶対おかしいって思うねん！」～当事者性を問いつつ「公共圏」の実現（＝）進路保障をめざして～ 講師：学校法人関西福祉学園・働き教育センターグループ 教育部長 徳永 信一 様	木津川市役所
R7 7月30日	夏季研修 実践報告：「みんなと同じように、させたいんやろ」～Aさんの存在から、自分を問い直す～ 講師：滋賀県人教 彦根市立佐和山小学校 佐久間 楓 先生	木津川市立加茂小学校

R7 8月22日	<p>中学校区合同人権研修会への参加 演題：「胸はって生きる」～私の生き立ちと人権教育～ 講師：丸田光昭 様</p> <p>講演：「なぜ今、同和問題？人権と学級経営」 講師：木津川市立加茂小学校 児童支援加配 中村雅文</p>	木津川市立泉川中学校
R7 8月30日	<p>京都「じんけん」楽習塾 実践報告：「人権同和教育の“いま”、“これから”」～子どもたちの思い・願いから考える～ 講師：滋賀県人教 近江八幡市立八幡西中学校 三輪 邦雄 様</p>	キャンパスプラザ京都
R7 11月30日～12月1日	<p>全国人権教育研究会（大阪）への参加 各学校の取組の発表とディスカッション</p>	近畿大学
R7 6・12月	<p>人権学習の助言やアドバイス （事前に教材研究を行う）</p>	

7 予算執行状況

- (1) 旅費は、旅費執行状況報告書に記載のとおり
- (2) 図書については、受領書のとおり

8 他校へ勧めたい実践又は他校へ呼びかけたい共同研究（できるだけ具体的に）

テーマ	児童生徒との繋がりを大切にする学級経営
育てたい資質能力	・生徒指導 ・学級経営 ・人権感覚
実践又は研究の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・繋がりを大切にした実践をされてきた講師の方々の実践から学ぶ。 ・児童生徒との繋がるための方法を学ぶ。 ・日々の実践を交流して、悩みやアドバイスについて話し合う。 ・人権学習のアドバイスや実践交流をする。 ・人権問題についての知識を増やすための勉強会を行う。